

官民連携事業の推進のための地方ブロックプラットフォーム
「サウンディング」
案件登録様式

■ 記入票

| 項目 | 記入欄 |
|---------------------|--|
| 1. サウンディング情報 | |
| ①団体名 | 鹿児島県奄美市いきいき健康課 |
| ②事業名 | 笠利地区認定こども園整備事業 |
| ③本事業の現在の検討ステージ | 1.事業発案 公有敷地に公立認定こども園建設を予定し、令和3年度基本構想策定予定です。この中で民間事業者のアイデアや知識などを活用してより良い施設にしたいと考えています。 |
| ④サウンディングの目的 | 本市はPPP導入実績に乏しく、こども園建設の上でどのようなお力添えがいただけるか、広くお伺いしたいです。 令和8年度に複数ある施設（保育施設と幼稚園）を集約して施設も制度も新たな「こども園」として新設するため、利用者である児童や保護者が利用しやすい施設にしたいと考えています。 その中で、具体的な建築については、デザインビルドなどの手法が考えられるのではないかと検討をしているところですが、これらを含めて手法など活用方法についてお伺いしたいです。 |
| ⑤民間事業者に対する質問事項 | ●こども園の設計・建設・維持・運営に関し導入可能な提案（前提） <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年4月の供用開始予定。 ・施設定員 100 名（0-5 歳児） ・各年齢（令和8年度時点） 0 歳児：10 名、1 歳児：15 名、2 歳児：13 名、 3 歳児：18 名、4 歳児：23 名、5 歳児：21 名 （合計 100 名） ・建設費は、市が支出予定。 （課題） <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少に伴う利用児童の減少 ・こども園での通園バスの運行の可能性 ・施設の老朽化 ・保育士不足による待機児童問題 ・イニシャルコスト、ランニングコストの抑制 ・集約に伴う未利用施設の利活用について ●現状では、設計・建設の一体化（デザインビルド）での発注を検討してはどうかと案は出ているが、これも含めてどのような手法が考えられるのか、ご提案いただきたい。 |

| | |
|---|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少に伴う利用児童の減少 ・こども園での通園バスの運行の可能性 ・施設の老朽化 ・保育士不足による待機児童問題 ・イニシャルコスト、ランニングコストの抑制 ・集約に伴う未利用施設の利活用について |
| ⑦前提条件 ※事業化にあたって事業者 に考慮してほしい事項等を簡 潔にご記入ください | 新設こども園の設計・建設・維持・運営に関し民間事業者の豊富 な知識やノウハウなどご提案いただきたいです。 |
| ⑧事業スケジュール（予 定） | 令和3年度 基本方針策定 令和4年度 基本構想、基本計画策定（予定） 令和6年度 着工（予定） 令和8年4月 供用開始（予定） |
| （2）対象地 | |
| ①所在地（交通情報含む） | 鹿児島県奄美市笠利町大字万屋字川ラ勝 1164-1 |
| ②敷地面積 | 上記土地 17,955 m ² のうち 3,000 m ² 程度（多目的広場） 添付資料における、ゲートボール場の左側「多目的広場」を候補 地としております。崖上であるため建築基準法による制限や、施 設の規模によっては変更となる可能性もあります。決定事項とし ては太陽が丘総合運動公園内への建設としています。 |
| ③土地利用上の制約 | 崖があるため建設に制約がかかる可能性 |
| ④所有者 | 奄美市 |
| ⑤周辺施設等 | 太陽が丘総合運動公園内の敷地となっており、敷地内には体育館 などの運動施設、プール等にくわえ、給食センターや農村環境改 善センターの公共施設も立地している。 |
| ⑥対象地周辺の環境 | 運動公園付近はサトウキビ畑などが広がり、住宅はありません。 笠利地区全体として広い農地と美しい海岸線を有し、自然環境が 豊かな地域。 |
| ⑦その他 （上記項目以外の情報、特徴、 留意すべきこと等） | 本事業と同一スケジュールで供用開始を目指している「住用地区 認定こども園整備事業」との同一事業としての整備についてもご 意見をお聞かせください。 |

■ 添付資料

- ・新設認定こども園建設候補地検討位置図
- ・新設認定こども園建設候補地_航空写真
- ・奄美市笠利地区公立保育施設等あり方基本方針 URL

<https://www.city.amami.lg.jp/kkenko/kasaritikuhoikukihonhousin.html>